

CCSテクニカルワークショップ2020

大規模CO₂地中貯留の事業化への取り組み

日程 2020年1月23日(木)

10:00~17:15(9:15受付開始)

会場 虎ノ門ヒルズフォーラム「メインホール」

東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階

「神谷町駅」3番出口徒歩約6分・「虎ノ門駅」1番出口徒歩約5分・「新橋駅」烏森口出口徒歩約11分

<http://forum.academyhills.com/toranomon/access/index.html>

定員 350名

(定員になり次第、
締め切らせていただきます。)

言語 日本語、英語

同時通訳有り

参加費 無料

ワークショップ終了後、意見
交換会を実施します。
(会費制3,000円)



主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

お申込み・お問合せ

■申込方法

下記のサイトからお申込をお願いいたします。

<http://ccsws2020.net/form/>

お申込完了後、受付メールを送信いたします。当日はご面倒ですが、受付メールのプリントアウトをお持ちくださいようお願い申し上げます。

上記サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項を記入の上、ccsws@rite.or.jpまでEメールでお申し込みください。

※Eメールでお申し込みの場合は受付メールは返信されません。ご面倒ですが、申込み控え(Eメールの申込みプリント)を当日ご持参ください。

参加申込み記載事項

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|------------------------|
| ①お名前(漢字): | ④会社名(かな): | ⑦お電話番号: | ⑩今後の関連イベント案内の送付(可・不可): |
| ②お名前(かな): | ⑤部署名: | ⑧Emailアドレス: | |
| ③会社名(漢字): | ⑥役職名: | ⑨意見交換会(参加・不参加): | |

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※意見交換会会費については、当日徴収させていただきます。

■お問合せ先

CCSワークショップ2020事務局 Eメール: ccsws@rite.or.jp TEL: 03-5549-6917



開催趣旨

CCSの事業化のためには、技術面に加えて経済性や不具合事象への対応、社会の理解の醸成、民間企業へのインセンティブなど、多角的な取り組みが必要となります。

本ワークショップでは、CCS分野で世界をリードする米国とノルウェーにおけるEOR※や帯水層貯留の事業化の取り組み、CCSのビジネスモデル、さらに緊急時対応や漏出可能性軽減対策についてご講演いただきます。また、「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」の研究開発の最新状況についてもご紹介いたします。

※EOR：原油増進回収法(Enhanced Oil Recovery)。原油が採取され生産量が減少した油田において、CO₂を油層に圧入するなどして残存原油を回収する方法。

プログラム

モデレーター 東京大学大学院工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター教授 佐藤 光三 (敬称略)

	プログラム	演題	講演者名
9:15-	受付		
10:00-10:05	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 山地 憲治
10:05-10:10	共催者挨拶		経済産業省 産業技術環境局 地球環境対策室長 川口 征洋
10:10-10:15	共催者挨拶		国立研究開発法人新エネルギー・産業技術 総合開発機構 環境部長 田中 秀明
10:15-10:20	趣旨説明		東京大学大学院 教授 佐藤 光三
10:20-11:40	講演1	SCALING UP TO INDUSTRIAL CCUS PROJECTS A Regional Perspective North Dakota, USA	John Hamling Assistant Director, Integrated Projects Energy & Environmental Research Center University of North Dakota 米国
		Red Trail Energy (RTE) Carbon Capture and Storage (CCS) Project	Dustin Willett Chief Operating Officer Red Trail Energy North Dakota 米国
11:40-13:00	昼食休憩 & ポスターセッション		
13:00-13:50	講演2	Creating Value From CO ₂ Monitoring	Sally M. Benson Co-Director, Precourt Institute for Energy Professor, Energy Resources Engineering Department Stanford University 米国
13:50-14:40	講演3	CarbonSAFE Illinois	Steven Whittaker Director Energy & Minerals, Illinois State Geological Survey University of Illinois at Urbana-Champaign 米国
14:40-15:10	コーヒーブレイク & ポスターセッション		
15:10-16:05	講演4	CO ₂ storage technology and pathway to global scale-up	Philip Ringrose Adjunct Professor, NTNU ノルウェー
16:05-17:00	講演5	二酸化炭素地中貯留技術研究組合における 安全管理技術開発の取り組み	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
17:00-17:10	総括		東京大学大学院 教授 佐藤 光三
17:10-17:15	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 今村 聡
閉会后	意見交換会(会費制3,000円)		

※講演者名、演題、講演時間等は変更になる場合があります。